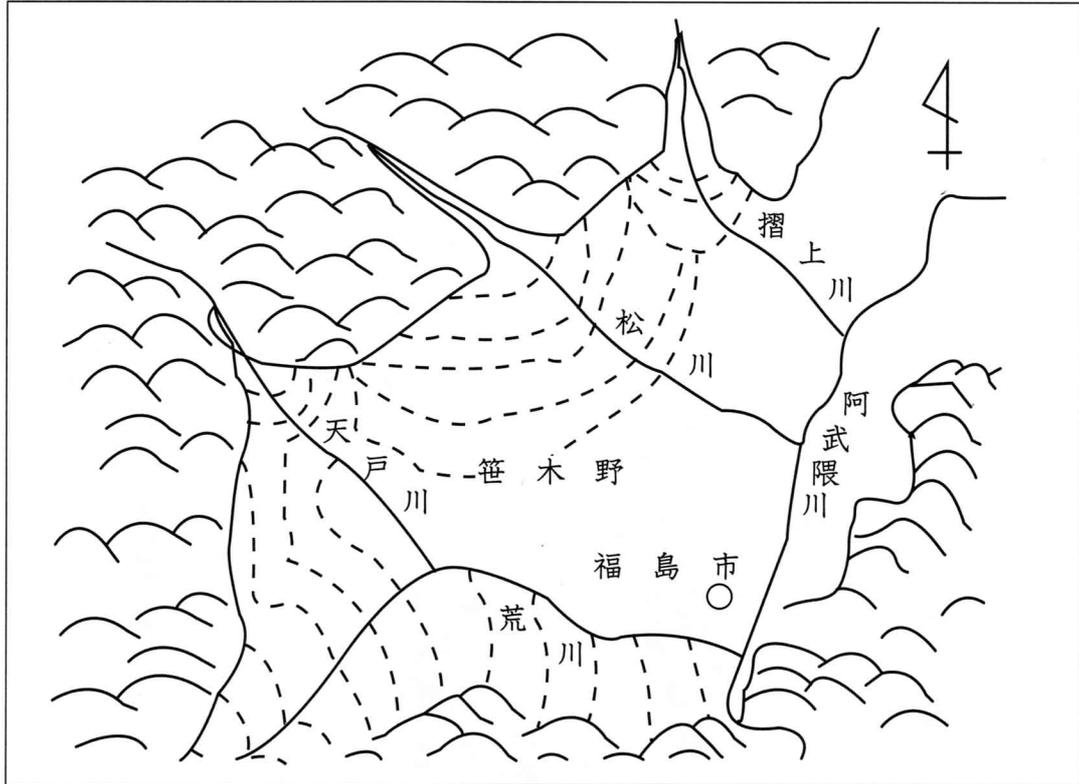


○^{ささきの}笹木野 (福島市)



笹木野は福島盆地^{ほんち}の西の方にあります。まわりには、なしやもも、りんご畑が広がっていて、くだものがたくさんとれます。

このあたりの土地は、吾妻山のふもとから流れでる荒川・松川・摺上川^{あらかわ まつかわ すり}がたびたびはんらんして、石や土や砂を運んだために、扇状地^{せんじょうち}といわれる扇^{おうぎ}の形をした地形になっています。

むかしは、大小の石がごろごろしていて、地下水が深く、水の便も悪く、作物をつくるには適さない土地でした。このような土地を嶋原^{しぎはら}佐蔵^{さぞう}という人が、1886年(明治19年)に萱場^{かやば}ふ近の一部をきりひらいて、なしをつくるようになったのが、現在の笹木野のなしづくりのはじまりです。いまでは、甘くて味のよいなしがたくさんとれるようになり、全国に売られるまでになりました。